



学校だより

佐渡市立両津吉井小学校

平成29年6月21日

<6月号>

地域の宝「鬼太鼓」の稽古スタート

校長 高橋 喜一郎

今月12日から、鬼太鼓の稽古を始めました。スタートに当たり、佐渡芸能伝承機構理事長の松田祐樹さんからご講演をしていただきました。松田さんからは、「力がある子どもたちですね」とほめていただきました。「力がある」とは、「地域のことをよく知っていて、地域とかかわろうとしている」という意味だそうです。学校で「ふるさと学」を進めてきているせいもあるかもしれませんが、やはり地域のもつ人と人とのつながりを土台とした地域の教育力のおかげであろうとありがたく思います。



松田祐樹さんのご講演

このことは、鬼太鼓に係る会議でも実感しました。4月下旬の両津吉井小学校の教育を語り合う会で、「今年度の鬼太鼓は、10月の文化祭の発表を目標にして稽古を進めたい」と提案したところ、「稽古日の6月から10月は、田んぼの作業があり教えに来るのが厳しい」というご意見をいただきました。地域の方から教えていただく鬼太鼓なので、時期を変える必要があると、次の5月末の会議で別案を用意したところ、各地域の指導者から、「地域で相談した結果、10月の文化祭を目指して教えられるように何とかする」と力強いお言葉をいただき、今の計画になりました。地域の教育への思い、教育力を実感しました。



鬼太鼓オリエンテーション

午後からは、各地域の指導者とのオリエンテーションを行い、その後、各地域ごとに各教室や体育館に分かれて鬼太鼓の稽古を始めました。

今後、2週に一度の割合で稽古をし、2学期からは4年生も参加して稽古を重ねます。今年度は衣装をつくることも計画しています。10月21日の文化祭では、1～4年生が、それぞれの地域の鬼太鼓を発表します。どうぞお楽しみに。



各地域の稽古開始